

## 「そうだ、商店街さ行くべ（仮）」提案書

担当者○田村、菅原、高畑、松田、宮田、西村

### 1. 提案内容

学生と商店街の皆による米沢新生活支援冊子の発行

### 2. 提案背景

米沢では学生の買い物が大型店に流れてしまい商店街の利用が非常に少ない状況である。その原因は、商店街のどこにどんな店があり、どこに行けば何が買えるかなど、大学生が知らないからではないだろうか。さらに、大型店に比べて商店街に行くメリットが学生には見出せないのが現状である。また、現在の勉強会にて商店街の課題を議論したところ、店の中が見えないので入りづらい、商品の陳列が分かりづらい、値段がわからないということが考えられる。加えて、魅力に乏しいなどの課題が挙げられた。そのためには、商店街の方々にもこの活動によって認識を変えて頂いたら幸いである。商店街を活性化するためにも、また学生が米沢ライフを満喫するためにも、学生などのように新規に米沢に住む方々に商店街の情報誌を発行しようと考えた。

### 3. 目的

学生など新規に米沢に住み始める方々に向けて商店街の店舗及び店舗の特徴や魅力、お得な情報を提供する。

### 4. 冊子のねらい

“ザワワ”とは違う価値のある情報誌を目指す。

### 5. 実施計画

#### 1) ターゲット

米沢に新規に住む人

山形大学工学部700人、米沢女子短期大学300人の1000人及び転勤族

ただし、初年度は工学部生、米短生すべてに発行する。

#### 2) 実施内容

商店街を紹介する冊子を商店街の方々と山形大学学生が協力して発行する。

#### 3) 発行部数

4000部

#### 4) 費用

活動費 5万円

印刷費 25万円

30万円

商店街で負担していただけないものか。

#### 5) スケジュール

平成22年1月 参加商店決定

平成22年2月 商店街との打ち合わせ

平成22年3月～ 取材・編集

平成23年3月 完成

平成23年4月 配布

#### 6) 商店街のメリット

学生が参加することで、顧客の視点で考えることができる。また、少なく見積もっても、学生が1年間生活するのに消費する額を30万円として、1000人の消費総額は年間3億円に達する。その中でも少しでも多く商店街に誘導できればと考える。